



科学的根拠に基づいた新しいリンパドレナージの提案

—ICG蛍光リンパ管造影による解剖研究からみえるリンパの地図—

演者

岡山大学 医歯薬学総合研究科 人体構成学

岡山大学病院 形成再建外科

品岡 玲 先生

このランチョンセミナーの目的は、科学的根拠に基づいたリンパ系の解剖とリンパ浮腫時のその変化をお伝えし、リンパドレナージへの応用を提案することです。そのため、実際にICGリンパ管造影のデモとそれを使ったリンパドレナージをセラピスト（香川県立中央病院、上山和代）が実演します。

リンパ管の解剖研究は難しく、リンパ系の解剖の実際は十分にわかっていません。また、リンパ管ドレナージの手法は経験的な知見によるものが多く、効果の根拠がはっきりしない部分が多く存在します。しかし、我々はインドシアニングリーン（ICG）リンパ管造影とCTリンパ管造影を組み合わせる新しい手法を用いて、多くの検体を用いた解剖研究を行い、動脈や静脈に負けない精密な解剖図を作ることに成功しました。このリンパ系地図によってリンパ浮腫患者における様々な病的変化を明らかにすることができます。今回はこの変化をリンパドレナージの観点から分類することで、新しいリンパドレナージを提案いたします。

リンパドレナージは個々の技量によるところが大きく、それを表現し他人に伝えることが難しい分野です。しかし、患者への貢献を考えると、セラピスト同士で情報交換し全体の技量を底上げし、また未来へ残していく方法を持つことが重要と考えます。そのためには、科学的根拠に基づいた指標が不可欠です。私たちが作成したドレナージに特化した新リンパ浮腫画像分類が、現在さらには未来のセラピストに皆様の技術を伝えていくための手助けになることを切に願っています。